

春光学園ユニット化・個室化等施設整備工事完了 6月30日 竣工式開催



昨年の8月より行われていた春光学園ユニット化・個室化等施設整備工事が完了し、6月30日に横須賀市の吉田市長様をはじめとした横須賀市の皆様、横須賀市議会正・副議長様、在日米海軍横須賀基地NAVFACチャンドラー司令官様をはじめとした在日米海軍横須賀基地の皆様、福祉関係の皆様、春光学園の子ども達が通園・通学している聖心幼稚園・衣笠小学校・衣笠中学校の皆様、長年にわたり春光学園の支援をして下さっている各団体やボランティアの皆様、又、解体工事に伴う騒音では大変ご迷惑をかけた町内会や近隣の皆様、子ども達が生活をしながらの工事という事で大変な苦勞を掛けました関東興産(株)様をはじめとした工事関係の皆様をお招きして、春光学園ユニット化・個室化等施設整備工事の竣工式を行いました。

竣工式では吉田市長様・山口議長様・チャンドラー司令官様より温かいお祝いの言葉をいただき、春光学園役員・職員一同、今後も子ども達の最善の利益の実現を目指して援助にあたらうと気持ちを新たにしました。その後、新しくなった園内を見学していただき、ささやかな軽食を子ども達と一緒に食しながら交流を持っていただき、温かい雰囲気の中で竣工式を終えることが出来ました。参加して下さいました皆様、ありがとうございました。今後とも皆様からの温かいご理解・ご支援をお願いします。



おへやがあたりしくなったよ

社会福祉法人 春光学園
理事長 森田 常夫

このタイトルの言葉は、このたび「個室化・ユニット化等大規模修繕工事が竣工し、仮設園舎から新しい部屋に入った子ども達の素直な気持ちです。



春光学園の園児と職員にとって永年の願望だった園舎の個室化・ユニットがようやく実現したのです。

春光学園は、今年で67年目を迎えました。昭和20年に開園した時の園舎は、旧日本海軍関係の施設を借り受けたもので、その後二度に亘って改築を行いましたが、開園してから41年間は木造の質素な平屋建ての園舎でした。

昭和49年に、神奈川県から老朽化した園舎を改築するように指導を受けましたが、土地の問題もあって、改築も建替えもできない状態で先送りされました。

昭和53年には、法人に対して再度改築の見直しを立てるよう指導があり、同じ年に横須賀市からも、移転改築か現在地での改築か否かを決断して、改築の時期と内容について見直しを立てること、現在地での改築を選択するのであれば、土地問題を解決するようこの指導を受けたのです。

それほど園舎は老朽化していたわけですが、法人は昭和60年によく土地問題を解決し、国、神奈川県及び横須賀市の補助を受けて、現在のRC造3階建ての園舎が完成したの

が昭和62年7月のことでした。県下の他施設の施設整備が進む中、当学園の施設整備は大幅に遅れ、県下で一番遅いものでありました。

しかし、その施設も建替え後22年を経過し、子ども達が生活する部屋は一部屋6人～8人が二段ベッドで寝起きする、大舎制といわれる大部屋暮らしでした。お風呂は大浴場、食事も食堂で全員が一堂に会して食べるという状態は依然として続いていたのです。

こうした中、国は平成17年に児童養護施設の整備基準について、小規模化(個室化)・ユニット化を図るという基本方針を打ち出してきました。神奈川県内の多くの児童養護施設は、昭和50年代に建てられていたため、建替え又は改築の時期を迎えていたこともあって、多くの施設が改築又は建替えを行い次々と個室化・ユニット化を図る中、春光学園は財政基盤等の問題もあって対応が遅れていたのです。

法人理事会は、こうした状態を看過することはできない、何とかしなければならぬと平成21年から具体的な検討に入りました。

まず、全面建替えは土地問題等の懸案があることから選択肢からはずすこととして、大規模改修の方向で検討に入りました。大規模改修の場合、既存建物の耐震強度が問題となりますが、耐震診断の結果クリアしていることが判明、更に築22年と経過年数が短いこともあって、大規模改修によって個室化・ユニット化を図ることで方針決定をしました。

折しも、平成22年3月11日に吉田横須賀市長が当学園の視察にお見えになりましたので、その折、施設長から大規模

改修の要望をお願いすると共に、幼児寮の子ども達が作成した「あたらしいおうちがほしいよ」という寄せ書きが吉田市長に手渡されたのです。

私は、平成22年4月に理事長に就任いたしました。就任挨拶のために吉田市長を表敬訪問した折に、浜田子ども育成部長立会いの下、大規模改修の必要性と助成について改めて協力を要請いたしました。

幸いにして、当学園の個室化・ユニット化大規模改修は、横須賀市の平成23年度事業に取り上げられ、予算化の決定がなされました。法人にとっては大きな喜びであり、子ども達も目を輝かせて、「本当なの？」と喜ぶ一幕もありました。

工事は、平成23年6月に横須賀市からの内示を受けて具体的に動き出し、8月下旬の仮設園舎の建築に始まり、3階、2階、1階の順に約1年に及ぶ大規模改修工事が完了したのです。

子ども達と職員は「あたしくなったおへや」で、生き活きとして生活を送っています。

各ユニットに出来た新しいお風呂に「一人でゆっくりと入れて嬉しい…」 「一人になれる部屋と時間がとれる」 「集団で食事をするよりユニットで食べるほうが落ち着く」など、子ども達の感想が聞こえてきます。

子ども達が生活しながらの長期に亘る工事は本当に大変だったと思いますが、横須賀市はもとより、鈴木設計株式会社、関東興産株式会社を初めとする工事関係者のご尽力と近隣関係者の方々のご理解とご協力を頂いて無事竣工を迎えることが出来ました。

私達は、子ども達が新しい環境の中で健やかにたくましく成長していけるように最善の努力をしていく所存であります。更なるご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

ユニット制になった子ども達のお部屋



幼児寮食堂



幼児寮保育室



幼児寮キッチン



幼児寮浴室



学童寮居室



学童寮キッチン・食堂



学童寮洗面所・浴室

衣笠小学校交流会

6月12日に衣笠小学校の教職員の皆様と春光学園において交流会を開催しました。学校や学園での子ども達の様子を話し合い、最後に新しくなった子ども達の部屋を見てもらいました。部屋に学校の先生方を案内した子ども達は少し得意そうにいました。参加していただいた衣笠小学校の校長先生をはじめとした教職員の皆様、ありがとうございました。

横須賀市議会 教育福祉常任委員会視察

6月14日に横須賀市議会教育福祉常任委員会の皆様が春光学園ユニット化・個室化等施設整備工事完成の視察に来園されました。春光学園の園児の内でも46人は横須賀市児童相談所より委託された子ども達で、市議会議員の皆さんも関心を持って熱心に視察しておりました。横須賀市議会の議員の皆様、今後ともよろしくお祈りいたします。

児童福祉施設卓球大会

6月24日に藤沢市の県立体育館で第51回児童福祉施設卓球大会が開催され、春光学園からも子ども・職員が参加しました。高校生女子の部と小学生男子の部で準優勝し、その他の子ども・職員も頑張っていました。参加した子ども達・職員は来年こそは優勝すると誓っていました。



わんぱく相撲横須賀場所

4月21日に小矢部のわんぱく相撲場で行われたわんぱく相撲横須賀場所に春光学園の子ども達も参加し、小学生男子各学年の部で優勝及び2位・3位を4名の子ども達が取ることが出来ました。他の子ども達も入賞こそ逃しましたが頑張っていました。



各学校・幼稚園

修学旅行・遠足

5月9日に聖心第一幼稚園の子ども達が観音崎公園へ遠足に行きました。保護者の方も参加してアスレチックで遊んだりおいしいお弁当を食べたりと楽しい一日を過ごしました。



5月9～11日に岩戸養護学校の3年生が北海道へ、5月27～29日には衣笠中学校の3年生が東北地方にて農業体験に、坂本中学の3年生が長野方面へ修学旅行に行ってきました。参加した子ども達は色々な体験が出来たようでした。

今年も衣笠商店街に七夕飾り

今年も施設の地域貢献の一環として、6月23日より7月8日の間に行われた衣笠商店街の七夕飾りイベントに、衣笠地区の幼稚園・保育園児と一緒に春光学園の幼児の子ども達も、七夕飾りを制作展示しました。自分たちが作った七夕飾りを見て学園の幼児の子ども達は得意顔。記念にみんな一緒に写真を撮りました。又、7月7日に行われた衣笠商店街夕涼み会には浴衣姿で参加する学園の子ども達もいて楽しい一夜を過ごしました。



横須賀中央ライオンズクラブの皆様と
ソニー生命保険㈱の皆様と

清掃ボランティア・BBQ

4月15日に学園の子ども達が横須賀中央ライオンズクラブの皆様と一緒にうみかぜ公園の清掃ボランティアを行いました。幼児の子ども達も一生懸命に清掃を行い、又、花壇の整備も行い、見る見るうちに公園内はきれいになりました。ボランティアの機会を作ってくださった横須賀中央ライオンズクラブの皆様。ありがとうございます。

4月28日にはソニー生命保険㈱の皆様と葉山海岸の清掃ボランティアとソニー生命保険㈱の皆様が用意して下さったBBQを楽しみました。一生懸命に海岸清掃をした後のBBQは格別。ソニー生命保険㈱の皆様、ありがとうございました。



博善社・浜田会計・ダイテツ工業様より

柏餅の寄贈

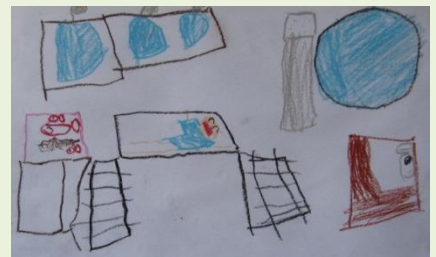
今年も子どもの日に博善社様・浜田会計様・ダイテツ工業様より合せて柏餅の寄贈がありました。出来たてのおいしい柏餅を子ども達にいただきました。ありがとうございます。

諸磯ヨットオーナーズクラブ様

ヨット招待

5月20日に約40年程続いている諸磯ヨットオーナーズクラブ様のヨット招待が今年もあり、春光学園の子ども達も参加してきました。初夏のさわやかな三浦の海をヨットの乗船体験をして、とても楽しい招待でした。諸磯ヨットオーナーズクラブ様の皆様、毎年の招待ありがとうございます。

春光美術館



幼児さんが引っ越しをした新しいお部屋の絵を描きました。丸いお風呂が印象的な様です。

ボランティア募集

春光学園では、子ども達の為に色々なボランティアを募集しています。あなたもボランティアをしてみませんか？

◎遊びのボランティア 小学生を中心に一緒に遊んでいただける方で曜日・時間については相談の上

◎学習ボランティア 小中学生の勉強 時間 17:00以降で相談の上

◎幼児のボランティア 遊び・掃除・洗濯・縫い物など

【問い合わせ】

◎春光学園 児山 〒238-0026

横須賀市小矢部 2-14-1

☎046-851-2362

FAX046-851-2332



平成24年4～7月に御支援を頂いた皆様

横須賀中央ライオンズクラブ様・ソニー生命保険㈱様・ライジングサン様・横浜マリノス様・横浜銀行様・湘南衣笠ゴルフ(チャリティーシート)様・キッザニア東京様・セカンドハーベスト様・こめやかた様(山形県村山市)・満昌寺様・諸磯ヨットオーナーズクラブ様・ライオン消毒様・武山パレス会館様・愛作農園様(三浦市)・東商不動産様・浦様・石渡様・三代川様・小林様・小松様(横浜市) その他、匿名の方を含めて多数の方(順不同)。

たくさんの御支援 ありがとうございます

さくらんぼ寄贈

今年も山形県村山市のこめやかた様より本場のさくらんぼの寄贈がありました。夕食のデザートに頂きましたが、おいしい大粒のさくらんぼに子ども達は大喜び。毎年の寄贈、ありがとうございます。

ライジングサン慰問

昨年の冬はユニット化・個室化等施設整備工事の関係で実施することが出来ませんでした。毎年夏冬の2回慰問に来て下さっているライジングサン(ハーレーラビット同好クラブ)の皆様が1年ぶりに7月1日に慰問に来て下さりました。プロの方が作った冷やし中華に学園の子ども達も手伝った手作り餃子。お代りをする子も続出。とても楽しい慰問でした。ライジングサンの皆様、ありがとうございました。

ベース招待

7月1日に在日米海軍横須賀基地に幼児寮の子ども達が招待を受け、参加してきました。毎年、独立記念日を中心に招待を受けておりますが、一緒にゲームをしたりおいしい食事を食べたりしました。毎年の招待、ありがとうございました。

給食室害虫駆除ボランティア

7月4日にライオン消毒様が給食室の害虫駆除のボランティアを行って下さいました。今までは給食職員が食品・食器等を全部出して害虫駆除をしていましたが、そのまま出来るという事で大変助かりました。ライオン消毒様、ありがとうございます。

バナナ・メロンの寄贈

7月に池上の石渡様より七夕という事でたくさんのバナナとメロンの寄贈がありました。七夕の時のデザートに使わせていただきました。ありがとうございます。

みんな頑張った 衣笠小学校運動会



は青組の優勝でしたが、どの組も頑張っていました。

心配された天気も吹き飛ばして衣笠小学校の運動会が6月2日に開催され、春光学園の子ども達も、保護者やボランティアファミリーの皆様、春光学園の職員の見学の中、競技に応援にと元気いっぱい大活躍。昼には皆で一緒にお弁当を食べ、楽しい一日を過ごしました。今年



衣笠歳時記 その⑫

春光学園長 小林 秀次

梅雨の季節となり、気温が一定しないためか鬱しい日々が続いている。これから盛夏に向かうのかと考えると幾分気分も重くなるが、学園は夏の行事が目白押しで、そんなことを言っている暇もない。

そんな中、「ユニット化・個室化等施設整備工事」の第3期工事である幼児寮の改修が5月末に完成した。引越しに先立ち子ども達と職員とで見学した。これだけは新施設にも負けないと自慢している大きなお風呂に、子ども達は水も張られずに入って大はしゃぎし、家具が入っていない広々とした寮内を喜々として駆け回っていた。冬の底冷えに悩んでいた保育室や新しく整備した食堂は、今回の工事で全面を床暖房に改修したが、その効果が今から待たれるところである。6月中旬に「高圧受電設備更新工事」が完了して、11ヶ月に及ぶ長丁場の工事が完結した。

後日談をひとつ。改修前まで幼児寮の子ども達は、学齢の子ども達との関係で4時に入浴を済ませていた。その後に食事を摂るのだが、就寝までに3時間半程時間が空く。夏などは着替えた下着が寝る頃には汗まみれになってしまう。改修後は、夕食を摂り、就寝前にゆったりと入浴が出来るようになって、5分ほどで快く眠りに就くことが出来るようになったと職員が笑顔で報告してくれた。

6月30日に、「あたらしいおへやができよ」と題して、ユニット化個室化工事の竣工を祝う会が、吉田横須賀市長、横須賀市議会の山口議長、チャンドラー米海軍司令官等の来賓や日頃お世話になっているボランティア、学校関係者、近隣の方々、70余名の招待者をお迎えして盛大に開催された。吉田市長は今回の工事をお願いした2年前に手渡した子ども達の寄せ書きをわざわざ持参してくださり、それを招待者や子ども達に指し示しながら機智に富んだ心温まる素晴らしい祝辞を寄せていただいた。感謝に堪えない。招待者の多くが工事関係者、日頃からお世話になっているボランティア、学校の校長先生、近隣の方々等であるため、子ども達とも顔馴染みであることから、祝う会は招待者と子どもと一緒に祝うという形式で開催した。幼児寮の子ども達のかわいい出し物に会場が沸いた。料理は職員手作りだが、どうしてどうして色々工夫した立派な出来栄の食事だった。工事の施工に当たられた業者の方々には、本当に良く頑張っていたと思う。とくに、現場代理人を務められた関東興産のIさんにはたいへんな心配りとご苦労

をいただき深く感謝している。そんな気持ちがあって、祝賀パーティーの席上では子ども達と職員からサプライズで特別の感謝状がIさんに贈られた。長い間本当にありがとうございました。

4月下旬に小学1年生の男の子が耳下腺炎を発症した。その内に収束するかと考えていたが、7月に入ってもまだ収まらない。小学生低学年を中心に発症した。職員まで罹患する経過となり心配していたが、ようやく沈静化しそうだ。そんな中、市内では「水疱瘡」が流行りだしていると聞くと心穏やかでない。学園の子ども達は低体重で生まれたことも子どもも多く、喘息やアレルギー等の疾患を持っている子が少なくない。既往歴もはっきりしない。以前は子どもが病気になる、職員は休憩時間に通院することを余儀なくされていた。見ている職員も負担が大きいので、2年余り前に看護師を採用したが、以前に比較して、格段に医療的ケアがきめ細かくなったように思える。子ども達にとって、自分が苦しい時に親身になってくれる看護師の存在は特別らしく、朝の登校時には、盛んに看護師を呼ぶ、「〇〇さん、〇〇さん」という子ども達の声が飛び交う。

毎年、この時期の歳時記では、衣笠小学校の運動会のことを書くのが恒例になっているのだが、残念なことに今年は、新施設の内覧会にと重なって、開会式しか出席できなかった。そんな中で気が付いたのだが、学園の子ども達の胸のネームだけがやけに大きく黒々としている。判りやすいのだが、何故か気になった。余所の子ども達を見ると、ほとんどが、別の布地に名前を書いて縫い付けてある。後日、学童寮の主任に聞いてみると、3年ほど前に改められたのだが、気付かずに学園だけの変更しなかったらしい。余所の子ども達の父兄には誰が学園の子どもであるか分からないから良かったようなものの、もっと早く気付けなかったことが恥ずかしい。

前号でも、中学生の子ども達の生活が落ち着かないということを書いたが、今に至っても沈静化するまでに至っていない。職員達は担当の子どもに寄り添いながら時間も惜しまずに必死になって取り組んでくれるのが有り難い。諦めずに職員と共に関わりを続けることで、何とか解決を図りたいものである。

